

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 245

2015年

7～8月号

行 事 案 内

7月から「サマータイム制」に変わります。集合時間などにご注意ください。
また、水鳥カウントは、4月から新メンバーによる「毎月第一土曜日」実施に変わっています。

7月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 7月12日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
案 内 サマータイムで行われます。第2機
場駐車場のオープン時間が遅いた
め、ヒドリ橋 第2機場 道の駅
お立ち台 の順序で移動します。
オオヨシキリや水鳥が、まだ子育て
しているかもしれません。コアジサ
シやサシバにも期待しましょう。下
見の結果で、ヨシゴイの浅間橋を訪
れるかも。
解 散 午前11時頃
担 当 松田
<カウント>
7月4日予定です。

8月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 8月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
案 内 今夏も猛暑が予想されています。暑
さも本番で、ルートは7月と同様
に予定しています。
子育てを済ませたコチドリやオオ
ヨシキリ、渡りの途中のシギ・チド

リの姿に期待しましょう。
水分補給と暑さ対策を忘れずに。

解 散 午前11時頃
担 当 松本
<カウント>
8月8日予定(8/1が手賀沼花火のため)

7月、8月ビオトープ調査

期 日 7月2日(木) 雨天延期
8月6日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ビオトープ 午前8時30分
(7、8月は1時間早くスタートします)
案 内 7、8月はビオトープ、沼岸がヨシ、
ヒマガマ等の葉に覆われるため中に
いる小鳥、水鳥の観察がしにくくな
りますが、池、田、沼、空を飛ぶ鳥、夏
を感じるツバメ、オオヨシキリ、セツ
カ等を探してみましよう。昨年7月
は15種、8月は12種の野鳥を観察
しました。7月は木の花、草の花も多
く咲き、8月には木の実もなります。
昆虫(蝶、トンボ、蝉等)、蛙の鳴き声
も聞こえます。8月は学校が夏休みで
ですので、子供連れの参加も可能です。
なお相当蒸し暑くなりますので、暑さ
対策にご留意ください。
参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解 散 午前 10 時 30 分
担 当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

映 写 会

日 時 7 月 26 日(日) 9:30~13:00
場 所 我孫子市民プラザ(旧エスパ)第一
会議室(あびこショッピングプラザ
3F)
案 内 本年度も、下記のように映写会を開催
いたします。
写真、ビデオ、スライドショーなど
の発表者を下記のように募集しま
すので、日頃の撮影、制作の成果を
ご発表頂きたく、奮っての応募をお
待ちしております。

<募集要項>

作品を発表される方は 7 月 18 日までに相
良宛て、以下をご連絡ください。

写真のテーマ・枚数

ビデオのテーマ・上映時間

スライドショーのテーマ・上映時間

内容は鳥や動物など自然関連のものとし
ます。

1、写真はスライド、デジタル画像のいづれ
でも構いません。ただし、一人 40 枚以
内とします。

デジタル画像ファイルは以下の通りで
お願いします。

)メディア: USB メモリーまたは
CDR

)ファイル:一括コピーできるような
発表者名のついたホルダーに収納

)ファイル名:番号、題名、撮影場所、
日付、拡張子

例 01 ムナグロ 発作 120506 jpeg
(発作で 12/05/06 撮影)

)画像サイズ:長辺 800~1280 ピク
セル以内(昨年までと同一です)

2、ビデオ(動画)も PC を用いて上映しま
す。

Windows の PC で行いますので、PC で
発表できる形態でご用意ください。

3、スライドショーは Windows のもとでの
パワーポイントを用いて作成ください。
* 発表作品は当日ご持参ください。

ただし、デジタルなどのコンテンツは開始
前にパソコンにインストールしておきま
すので USB メモリーなどの媒体で、当日 9:00
までに相良宛て提出してください。

* 申込先:相良直己

Tel : 04-7191-3108

* 担 当:相良、田中(恒)、石渡

懇 親 会

日 時 7 月 26 日(日) 13:00~15:00
場 所 ビストロ・ヴァン・ダンジュ
(Bistoro Vin-dange)
我孫子駅北口 京葉銀行近く
我孫子市我孫子 1-8-18 ラ・セーヌ 2 F
電 話 04-7185-5800

会 費 2100 円(アルコール類は各自負担)

案 内 午前の映写会開催後、今回は南フラン
ス料理とワインのお店で、ゲーム
などもして親睦を深めたいと思い
ます。午前中都合のつかなかった方
も、ぜひご参加くださる様ご案内い
たします。

申 込 古出洋子まで 申込期限 7 月 15 日
Tel : 0476-42-3188(19 時以降にお
願い致します)

担 当 金子(幸)、小林(寿)、野口(紀)、古出

第 13 回 野鳥サロン

第 13 回野鳥サロンを下記のように開催しま
す。

語り部としても定評のある関口小夜子さ
んに、鳥にかかわる昔話をお話していただき
ます。後半は、11 月に催行される伊豆沼・
蕪栗沼探鳥会の参考に、蕪栗沼のガンの映像
を紹介します。

みなさまの参加をお待ちします。

日 時 7 月 16 日(木) 10:00~11:30
場 所 我孫子北近隣センター 並木本館
1F ホール(スリッパに履き替え)

Tel : 04-7157-4517 (我孫子駅北口より徒歩7分)

テーマ1 「昔、人々は鳥や自然とどう関わってきたのでしょうか。昔話から、その暮らしぶりをのぞいてみましょう。」約1時間

2. 蕪栗沼のビデオ(松田制作) 約20分

会費 一人300円(茶菓代ほか)

締切日 7月11日(土)

申込 船津登まで

Tel : 04-7191-2297

担当 関口、畠中、船津、松田

暑い最中ですが、近場でもあり是非ご参加下さい。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1000円を運転者にお渡し下さい。尚、自家用車を提供可能な方は、申込時にその旨をご連絡下さい。

持物 観察用具、水筒&日除け対策をお忘れなく。

昼食不要(午前中で終了します)

申込 金子雅幸まで

Tel : 04-7133-6944

担当 松田、金子

ホタルの夕べ

期日 8月2日(日) 雨天中止
集合 東我孫子駅前 午後7時
持参 懐中電灯、虫除け対策のスプレーなど

解散 午後8時を目安。東我孫子駅前
案内 恒例の岡発戸・都部でのホタル鑑賞会です。谷津田は整備されていて、水辺や湿地の生物も増えています。今年は何頭観察されるのでしょうか。去年は125頭でした。楽しみです。我孫子市鳥の博物館友の会と共催です。大勢の参加を期待しています。観賞するホタルはヘイケボタルです。青白く光るホタルは、幻想的です。一度見てみませんか!

申込 不要

担当 木村、染谷

野田周辺探鳥会

期日 8月30日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時

案内 今夏は、複数のツツドリが集まり赤色型も毎年見られていると言う野田市スポーツ公園(野田市木野崎)を訪ねます。この他下見の状況次第で、もう一カ所の鳥見も検討して居ります。

白樺峠・乗鞍探鳥会

期日 9月23日(水・祝)、24日(木)

集合 我孫子駅北口ふれあい広場前
午前6時30分

案内 タカの渡りの観察地として有名な信州白樺峠と野鳥・高山植物・温泉を楽しめる乗鞍を訪れます。標高1600mの白樺峠ではサシバ、ハチクマなどの壮大な渡りとタカ柱が見られ、180度見渡せる自然の山間の景色は最高です。標高1500mの乗鞍高原では夜は天然温泉で身体を癒し、朝は夏鳥を探鳥します。標高2700mの乗鞍畳平までバスで行き、ホシガラス、イワヒバリ、カヤクグリ、運が良ければライチョウに期待です。晴れば乗鞍の山々の景色が堪能できます。

交通 小型バス

定員 20名(先着順です)

宿舎 滝見館

長野県南安曇郡安曇村4306

Tel : 0263-93-2412

費用 24,000円程度

持物 観察用具、雨具、防寒具、昼食、飲物

申込 野口隆也まで(旅行傷害保険に入るため、生年月日をご連絡ください)

Tel : 04-7163-7898

担当 松本(勝)、野口(隆)

当会HP、配信メール講習会案内

前号でご案内いたしました無料講習会の期日が迫って来ましたので、一部再掲します。

日時 7月5日(日) 12:30~15:00

場所 アビスタ 第5学習室

講師 当会会員有志

内容 当会HPの効果的活用
配信メールの仕組みと特徴
配信メール使用時の注意点
その他

会員の皆様でいまひとつホームページや配信メールの活用に自信が持てないという方はこの機会に奮ってご参加ください。

7月役員会案内

日時 7月12日(日) 12:30~15:30

(開始時間にご注意願います)

場所 水の館 3階研修室

議題 JBF2015 出展について
あびこ市民活動メッセ出展について
会報 246号掲載予定記事について
27年度第1四半期会計報告
第14回野鳥サロンについて
報告事項
・新入会員オリエンテーション
・HP/配信メール講習会
・対外対応状況 他
その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

行事報告

4月手賀沼探鳥会

調査日時 2015.4.12 9:00~11:45
晴れ 微風 15

探鳥会は、県議会議員選挙の投票日と重なったため、集合場所を市役所隣りの「クレオ」前の来庁者駐車場に変更し実施されました。天気は、ひさしぶりの晴れ、風は少し冷たく感じられました。手賀沼の湖面には、水鳥がほとんど見られませんでした。田の水路にいたダイサギは、くちばしが黒く、目先が緑青色の夏羽になっていました。葦の中には、数は少なくなりましたがオオジュリンが見られました。猛禽類は、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、ハヤブサの6種が認められました。初参加2名を含む参加者40名より多い、41種の鳥が認められました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、オ

カヨシガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、セッカ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計41種

<探鳥斑> 弘實和昭、大久保陸夫、榎本右、木村稔、西嶋昭生、泉博、伊藤和己、村松寿夫、間野吉幸、渡辺俊文、六角昭男、桑森亮、川越久枝、古出洋子、金子幸子、松本葉子、松本勝英、川村美智子、川村美恵子、類地佑子、染谷迪夫、村井みとい、千葉洋、松田幸保、野倉元雄、北崎正典、村瀬和則、田丸喜昭、田丸メリールイス、北原建郎、鈴木静治、野口隆也、相良直己、

常盤孝義、小林寿美子、小玉文夫、百瀬喬、玉井修一郎、佐藤弘美（担当）船津登
計 40 名

<カウント班> 木村稔、田中功、桑森亮、船津登、古出洋子

調査日時 2015.4.4 9:30 ~ 12:30

雨のち曇り 北東風強 10 ~ 12

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	6	16	22
オドリ	2	0	2
オヨシギ	3	0	3
カルガモ	35	7	42
コガモ	93	2	95
カイツブリ	10	4	14
カムリカイツブリ	2	2	4
カワウ	33	44	77
アオサギ	10	5	15
コサギ	1	1	2
オオバン	31	13	44
タシギ	2	0	2
ユリカモメ	0	10	10
セグロカモメ	1	12	13
合計	229	116	345

<ピオトープ班> 鈴木静治、蒲田知子、金子雅幸、船津登

調査日時 2015.4.2 9:30 ~ 11:00

晴れ 弱 ~ 中位の風 14 ~ 16

沼岸、斜面林の桜が満開で綺麗、斜面林よりウグイスの囀りが聞こえる。田、宅地の菜の花の黄色、コブシの白色、ハナモモの桃色、白色も見える。沼には岸近くの葦の茂みに水鳥が、ピオトープは枯草の茂みにアオジ、ホオジロ、オオジュリンが動く。ピオトープ生息ゾーンの植生移植工事が終わり、出来た大きな池にはオオバン、バン、コガモ、カルガモ等が見られた。キジも鳴く。上空をトビが3羽鳴きながら旋回する。観察した野鳥 22種 63羽。他に木の花、花穂、芽 11種、野草の花、芽、実 19種、小動物 1種、魚 1種、両生類 1種、蝶 4種(この時期のみに姿を見せるツマキチョウを含む)等を観察しました。
<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、トビ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、

ムクドリ、ツグミ、スズメ、タヒバリ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 22種

5月手賀沼探鳥会

5月10日(日)定例探鳥会に代えて、バードウィーク手賀沼探鳥会を実施しました。手賀沼親水広場で開催された Enjoy 手賀沼！にあわせ、我孫子鳥の博物館との共催、山階鳥類研究所後援の行事でした。探鳥会には市民 46名と鳥の博物館より2名、会員 26名、合計 74名の参加がありました。特に市民の参加が昨年 27名を大幅に上回りました。

コースは手賀沼遊歩道に沿って、1時間コース(2班)と2時間半コース(3班)の2通りで探鳥を行いました。

1時間コースは家族連れに好評で市民 31名の参加がありました。しかし子供たちは1時間の探鳥では若干物足りない様子でした。認めた鳥は 15 ~ 16種でした。

2時間半コースはじっくりと探鳥を楽しんで頂き、認めた鳥の数も 26 ~ 31種と増え、熱心な家族連れの姿も見かけられました。

2コースとも会員の鳥に関する説明に終始和やかに楽しく聞き入っていました。

最後は鳥の博物館で鳥合わせを行い、恒例の鳥ビンゴを完成、景品の写真カード選びに目を輝かせておりました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、コチドリ、タシギ、イソシギ、トビ、ノスリ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ 計 30種
番外 カワラバト

<参加会員> 野口紀子、石井俊子、間野吉幸、小林寿美子、古出洋子、類地佑子、西嶋昭生、染谷迪夫、千葉洋、船津登、村井みとい、北崎正典、野倉元雄、小澤淳宏、小林博之、田中功、桑森亮、小林秀美、清岡万紀子、松田幸保、藤川敏彦、小玉文夫、川越久枝、金子幸子(担当) 金子雅幸、野口隆也 計 26名

<カウント班> 田中功、桑森亮、金子雅幸、古出洋子
 調査日時 2015.5.3 9:00~11:20
 晴 弱風 25

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	7	3	10
カガモ	13	4	17
コガモ	0	1	1
カイツブリ	5	1	6
カムリカイツブリ	0	1	1
カウ	23	35	58
アオサギ	5	4	9
ダイサギ	1	1	2
チュウサギ	0	3	3
コサギ	0	2	2
オオバン	4	11	15
コリカモ	0	1	1
合計	58	67	125

<ピオトーブ班> 鈴木静治、間野吉幸、池田日出男

調査日時 2015.5.7 9:30~11:30
 曇り後晴れ 無風 20~23

カモ、ツグミ等の冬鳥去り、ツバメ、オオヨシキリ等の夏鳥来る。田植えもほぼ終わり、カエルの鳴き声が聞こえる。チュウサギも遠くの田で採食。斜面林は新緑で、ウグイス、ヒヨドリ等の声聞こえる。沼と田の上空をアオサギ、カルガモが飛ぶ。ピオトーブ内はホオジロ、オオヨシキリ、シジュウカラが囀り、キジも鳴く。観察した野鳥 17 種 69 羽。他に木の花、若い実 9 種、野草の花、実 29 種、蝶 5 種、甲虫、バッタ等 6 種、ハエ、ハチ等 3 種を観察しました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カウ、アオサギ、オオバン、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、オオヨシキリ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ 計 17 種

霞ヶ浦周辺探鳥会

4月29日

29日の霞ヶ浦周辺探鳥会は下見の結果、中止とさせていただきます。

今回は、出来れば通常の浮島・本新以外の探鳥スポットをご案内出来れば...と土浦の沖宿・戸崎からスタートしましたが、かつて夏羽の黒いツルシギ達を見たそこは蓮田の殆どに防鳥ネットが張り巡らされ、鳥見出来る環境では無くなっていました。

北岸をずっと走らせながらシギチを探しましたが、全く鳥影を確認出来ませんでした。その後水郷地区の田も走り回りましたが、鳥のいるポイントは見つけられずここでもシギチと巡り合えません。やむなく本新へ行きましたが、何故かここにもシギチがいません。浮島でアオアシシギらしき鳥が上空を飛んだだけで、全く出会えません。

昨年までツバメチドリなどを楽しませて呉れた西ノ洲も、盛土工事が進んでかつての水場は完全に整地され有りませんでした。

夏羽のシギチの美しさを謳い、皆さんを煽っておきながら誠に申し訳ありませんが今回の霞ヶ浦周辺探鳥会は中止するとの結論を出さざるを得ませんでした。

事前の準備が不足した状態で、今回の企画を立ち上げた事を深くお詫び致します。

(担当幹事 金子雅幸)

筑波山探鳥会

5月3日

筑波山探鳥会の楽しみ方

弘實和昭

筑波山を初めて登った。私は今年66歳、我孫子市に30年以上住んで来たが、その間ほとんど山登りをしていない。山形で育ったため、子供のころは目の前にあった山を遊び場にしてた。でも、東京へ出てきてから山に登ることの興味が薄めてしまったようで、「山の体験は都会の人には田舎者と見られてしまう」とでも思っていたようだ。

筑波山には筑波温泉・筑波山温泉「双神の湯」のふたつの源泉がある。昨年、中腹にあるこの温泉に浸かりに来たことがあり、ふもとのゴルフ場にも何度か来ている。男体山の頂上まで登ったのが初めてだった。

筑波山は江戸の昔から「西の富士山、東の筑波山」と並び称された象徴的な山である。二つの山頂があり、それぞれ男体山はイザナ

ギの尊、女体山はイザナミの尊を奉っている。日本書紀に出てくるこの二人が夜な夜な御遊楽なさるので、そのじゃまをしてはならないと、夜の登山は禁止されているとか。この霊峰には日本の神話が潜んでいるらしい。

日本百名山にも数えられていて、その中でも標高 877m の一番のちびっ子。しかし急な岩場が有り、「登るときは馬鹿にしないで登山靴を履きなさい。」とガイドブックに書いてあった。

5月の山は気持ちがいい。新鮮な出来立ての若葉や二輪草が山を覆っていて、その隙間を通り抜ける風が絶妙だ。この空気を味わいたいと、登山客が多い。しかし皮肉なことに、この若葉が野鳥の姿を隠してしまうのだから探鳥する者には困ったことで、まあなかなか全てのことが人間のために働くというわけにはいかない。

山腹の駐車場で車を降りると、まずはウグイス、メジロにヒヨドリ的美声が聞こえる。静かな森は気味が悪いものだが、この森は実に賑やかだ。

ソウシチョウ(相思鳥)が出た。きれいな鳥だ。昔から飼い鳥として、その姿や鳴き声を楽しんできた鳥である。この美しい鳥がガビチョウ(画眉鳥)と共に2005年に特定外来生物「日本の侵略的外来種ワースト100」

」に選ばれている。在来鳥であるウグイスやオオルリが駆逐される恐れがあるために法律で定めた。原産地は中国で、江戸時代から輸入されていた。日中国交正常化にともない輸入が激増したこともあり、飼い鳥として多くの家庭でかわいがられていた。しかし、神戸にいた華僑がお祝いのイベントで放鳥したり、売れなくなったときにペット業者が大量に放鳥してしまったためにこれらが野生化し、今各地で繁殖が進んでいる。

環境省は「外来生物被害予防三原則 入れない捨てない広げない」を定めた。この規則に違反すると個人には3年以下の懲役か300万円以下の罰金、法人には1億円以下の罰金が科される。かなり厳しい罰則である。

次にキビタキが出た。夏鳥ではほぼ全国に繁殖し、繁殖期はなわばり宣言と雌の関心を引くために美しい声でさえずる。喉から胸腹はきれいな黄色、黄色いヒタキでキビタキ、これは覚えやすい。

登るにつれ様々な鳥たちの声が聞こえてくる。オオルリ、ツツドリ、エゾムシクイ。残念ながらもなかなか姿を見ることは出来ない。

山頂付近で、私が誰へともなく「シジュウカラがたくさん鳴いていますね」というと「左から聴こえるのがヒガラ、テンポが速いでしょう。右はヤマガラ、これはゆっくり鳴きますね。シジュウカラはその中間です。」と答えが返ってきた。探鳥には「見る」と「聴く」の二つの楽しみ方がある。

さえずりを聞いてこれを文字にしてみる。

メジロは忙しく「チツチツチ ツツチチチチチチチチ」と鳴き、「チチチ チチチ」がエゾムシクイ。ヒヨドリは「ピョ ピョ チハチチハチチチ ヲリチチチ チチチチチチチ」と元気がよく、オオルリは「フチチチチチ ピピピピョウ」ときれいに鳴く。

鳥の声を文字に直すのは結構難しい、しかしこの作業はこれでなかなか楽しいものである。

【幹事報告】

天気は五月晴れ、気温 27、参加者 25名、自家用車 7 台で 7:00 予定通り我孫子駅出発。9:00 筑波山(旧ユースホテル跡地)到着後、深峰遊歩道探鳥開始。鳥の声のシャワーに耳を澄ませながら登り始める。

約 1 時間後御幸ヶ原に到着。連休中で天気も良く沢山の人で賑っていたが、男体山山頂経由迂回路には思った程人がいなく静かでさえずりがよく聞こえた。

12 時に御幸ヶ原に戻り下山、薬王院へ向かう。薬王院で昼食後鳥合わせをして 1 時 30 分解散で各自乗車して来た車で帰路に就く<認めた鳥>キジ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ホトトギス、ツツドリ、トビ、コゲラ、アオゲラ、ハシボソガラス、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、エナガ、センダイムシクイ、エゾムシクイ、メジロ、セッカ、ムクドリ、クロツグミ、オオルリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、キビタキ、カルガモ、ゴジュウカラ 計 35 種 番外ソウシチョウ

<参加者> 間野吉幸、渡辺俊文、木村稔、古出洋子、小玉文夫、鈴木静治、類地佑子、渡

辺公子、桑森亮、金子雅幸、鈴木祐爾、小林博之、松本勝英、中根文世、村井みとい、弘實和昭、北原健郎、西嶋昭生、西嶋みどり、清水直樹、榎本右、阿保進、阿保國子(幹事) 野口隆也、小林寿美子 計 25 名

第 12 回 野鳥サロン実施報告

日時 5月19日(火) 13:30~4:00
場所 我孫子北近隣センター 並木本館
第3会議室

テーマ 我孫子野鳥を守る会の里沼・手賀沼の変遷と美手連の手賀沼環境活動の取り組み
鳥の生態や識別、羽色、構造といった分野からいくつかの具体的なテーマ・疑問について、みんなで選んで楽しく闊達に話し合う。

テーマ については、野口隆也さんが、資料に基づいて「手賀沼の変遷と手賀沼環境活動の一端」を以下について話しました。

1、手賀沼の変遷

- ・昭和30年代まで(里湖=さとうみ)
- ・汚濁(CODの変化と水草の種類)
- ・汚濁の原因(農薬~干拓~人口増加による生活排水の増大)
- ・北千葉導水による水質改善

2、手賀沼の課題

目標として、多様生物の生息環境を保全・再生し、そのことが水質改善に寄与するという循環型で持続可能な手賀沼を取り戻すことを掲げる。

3、野鳥を守る会としての環境活動は？

会の活動は 野鳥と楽しみ、野鳥を受け入れ育て、野鳥を通じて自然保護に努め、人と鳥の共存する環境をつくり、会の親睦を図る。

各項目について、途中、いろいろな意見や質問が参加者から出され、会話は弾みました。

については、田中さんが取り上げた11の

テーマのなかから次の2つのテーマについて話し合いました。

1、(生態) 利根川を越えて、大きな鳥達が、鉤になったり竿になったりして飛んでいるが、鳥の名前は、鳥たちの目的は、なぜ鉤になったり竿になって飛ぶのか、そのメカニズムはなどについて話し合いました。

鳥の名前はカワウに落ち着きました。飛ぶ目的は採餌のためにねぐらから餌場への移動ということになりました。いわゆる渡りとは異なる行動ということです。

鉤になり竿になって飛ぶのは、大型の鳥は飛ぶときに、上昇気流が生まれる。その時すぐ後ろにいる鳥は、前の鳥の上昇気流を利用すると、省エネで飛ぶことができる。それが後に続くと、鉤になったり竿になって飛ぶということのようです。

2、(生態) ある場所(埼玉)でカラスが何羽か餓死した。かわいそうだ。何とかならないか？カラスは何を餌としている。餌のパンをやろうとおもうが。

話し合いの結果、鳥の周りには餌がいっぱいあると思われがちだが、意外と餓死するものが多いという事らしい。餓死の理由として、年よっての餌不足、病気や怪我によって、餌が取れない。結局餓死してしまう。他に命を落とすのは、捕食されてしまう。同じ仲間同士の生存競争。自然はなかなか厳しい。パンなどの餌を与えることは、鳥達にとって、自然食でなく人工食で、いろいろな物質が混ざって本来は良くない。又餌の取り方を学習できなくなり生存が脅かされる。

今回の野鳥サロンは参加者の活発な話し合い、率直な意見の述べ合いなど野鳥サロンはこうあるべきと思った。

<参加者> 間野吉幸、船津登、大久保陸夫、石渡成紀、小澤淳宏、野倉元雄、千葉洋也、金子雅幸、金子幸子、類地佑子、古出洋子、青木典子、松田幸保(担当) 田中功、野口隆也、染谷迪夫

平成 27 年度定期総会報告

日 時 4月12日(日) 13:40～15:00

場 所 我孫子市民プラザホール

出席者 30名

平成 27 年度定期総会配布資料

平成 27 年度定期総会次第

1号議案 平成 26 年度事業報告(案)

2号議案 平成 26 年度決算(案)及び
び監査報告書

3号議案 平成 27 年度事業計画(案)

4号議案 平成 27 年度予算(案)

5号議案 役員改選 会長、副会長及
び会計監査の選出(案)

議 事

開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、各議案について報告され、意見、確認などの質疑応答の結果、一部修正の上、決議されました。主な内容は次の通りです。

平成 27 年度事業計画(案)に対しては審議の結果、手賀沼定例探鳥会での車便乗者の負担金、遠出探鳥会での車便乗者の負担金及び手賀沼水鳥カウントでの運転費用の支払額については、具体的負担金額を書かず“定額”と記述を修正し、定額の一覧表として整理し、役員会で審議、決定することで了解された。

また、予算(案)については、鈴木会計担

当が提案し、間野が別途積立金の 10 万円増額について 50 周年事業に向けて将来のために積み増しする旨を補足説明し、役員会資料の印刷費低減などの質疑応答を経て、異議なく決議されました。(下表)

なお、役員改選については、全員再任の提案に対し、全員異議なく決議されました。
平成 26 年度決算および平成 27 年度予算

(単位 円)

	26 年度決算	27 年度予算
収入の部		
会費	313,000	300,000
会行事収入	2,192,098	1,500,000
その他の収入	119,075	0
前年度繰越金	713,614	848,243
合計	3,337,787	2,648,243
支出の部		
野鳥の部	2,134,071	1,540,000
環境保全の部	0	2,000
啓発活動の部	228,091	261,000
庶務の部	85,463	114,000
その他費用	41,919	50,000
別途積立金	0	100,000
次期繰越金	848,243	581,243
合計	3,337,787	2,648,243

5 月役員会報告

日 時 平成 27 年 5 月 10 日(日) 13:00～16:15

場 所 我孫子市北近隣センター並木本館 会議室 2,3

議 事

1. 平成 27 年度下期行事計画について

事務局から提案され、検討の結果、次の通り決定しました。

年/月	実施日(曜日)	行 事 内 容	担当(下線は主担当)
27/10	1(木)	手賀沼バイオープ調査	鈴木他
	4(日)	三番瀬探鳥会	金子(雅),船津
	10(土)	手賀沼定点カウント	田中他
	11(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 事務局会議	Am 小澤
	31(土)	JBF	幹事全員
27/11	1(日)		
	5(木)	手賀沼バイオープ調査	鈴木他

	7(土)	手賀沼定点カウント	田中他
	8(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 役員会	Am 船津
	21(土),22(日)	伊豆沼・蕪栗沼探鳥会	桑森、鈴木
	29(日)	親子ふれあい探鳥会	野口(隆) 他 5 名
	未定	第 15 回野鳥サロン	間野,青木,石渡
27/12	3(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	6(日)	統一クリーンデー、ふれあい清掃	小澤,染谷
	12(土)	手賀沼定点カウント	田中他
	13(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 事務局会議	Am 桑森
	20(日)	岡発戸・都部谷津探鳥会 & 芋煮会	幹事全員
	23(水・祝)	小見川・神之池・江戸崎探鳥会	松田,桑森
	24(木)	長寿大学探鳥指導	金子(雅) 他 6 名
28/01	7(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	9(土)	手賀沼定点カウント	田中他
	10(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 役員会	Am 松田
	11(月)~16(土)	台湾探鳥会 (5泊6日)	間野、野口(隆)
	24(日)	筑波山探鳥会	野口(隆),石渡
	30(土)	亀成川を愛する会探鳥指導	間野 他 5 名
	31(日)	市民手賀沼船上探鳥会	染谷 他 4 名
	未定	第 16 回野鳥サロン	野口(隆),石井,小澤
28/02	4(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	6(土)	井頭公園探鳥会	松本,小林(寿)
	11(木・祝)	手賀沼定点カウント	田中他
	13(土)	涸沼・大洗探鳥会	船津,金子(雅)
	14(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 事務局会議	Am 松本
28/03	3(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	5(土)	手賀沼定点カウント	田中他
	6(日)	銚子・波崎カモメ探鳥会	相良,北崎,桑森
	13(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 役員会	Am 小林(寿),野口(紀)
	未定	第 17 回野鳥サロン	北崎,小林(寿),野口(紀)

2. 平成 27 年度役員の事業別分担について

新任幹事、役員の実業別分担について、会長から資料に基づき提案され、検討の結果、一部を修正し決定しました。なお、退任・新任幹事の皆さん及び事務局体制は次の通りです。

【退任幹事】蒲田知子、小玉文夫、田中恒雄、畠中暁美、松下勝子 計 5 名

【新任幹事】青木典子、石井俊子、千葉洋、野倉元雄、村井みとい 計 5 名

【事務局員】桑森亮(事務局長)、金子幸子、金子雅幸、北崎正典、相良直己、野口紀子、船津登 計 7 名

3. ほーほーどり 245 号掲載予定記事

会報 245 号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。

また、会報「ほーほーどり」の送達方法について、これまで利用していたクロネコ DM 便が 3 月末で廃止されたことに伴い代替方法を検討し、日本郵便の「ゆうメール」に切り替えることを決定しました。なお、これによる費用は従来とほぼ同等です。

4. 探鳥会等における運転者及び下見代に対する費用負担定額一覧表について

4 月開催の定期総会における審議結果を踏まえ、事務局から「探鳥会等における運転者及び下見代に対する費用負担定額一覧表」について一部補足事項を追記し決定しました。

5. 第13回「野鳥サロン」について

第13回野鳥サロンは7月実施予定で、実施日とテーマが決まり次第周知・募集されます。また、第15回(11月)以降の担当役員について検討し、決定しました。

6. JBF2015の当会イベントについて

湖畔BW及び船上BWの事業確認シート案が事務局より提案され、異議なく決定しました。なお、担当は、湖畔BWは六角から船津に、船上BWは桑森から松本に変更します。

7. 対外行事等の対応について

(1) 手賀沼流域フォーラム地域イベント企画

「手賀沼親子ふれあい探鳥会」を11/29(日)に実施とし、対応幹事6名を決定した。

(2) ソーシャルアクションリングの取材対応

当会PRのため取材を受け入れ、取材対応は三役に一任することを決定した。

(3) あびこ市民活動メッセ

9/26(土),27(日)に「けやきプラザ2Fふれあいホール」で開催され、当会も参加・出展する計画です。出展内容は次回役員会で検討します。

(4) (仮称)新交流イベント説明会

我孫子市市民活動支援課から、説明会と参加打診があり、当会としては、あびこ市民活動メッセと重複することもあり、本イベントには参加しないことが了承されました。

(5) 「子ども&若者の市民活動体験・ボランティア活動体験(JOYボラ)」およびエコマインド05(ぜろご)の会探鳥指導要請に対し、受け入れることにしました。

8. 報告事項

手賀沼親水広場の運営、美手連関係、JBF2015関係、あびこ市民活動メッセ実行委員会について対応状況が報告され、了承されました。

以上

訃報

当会会員(顧問)の首藤祐吉さんがご病気のため、5月30日にご逝去されました。

故人のご冥福を心よりお祈りし、謹んでお知らせいたします。

首藤祐吉さんを偲ぶ

5月30日我孫子野鳥を守る会に永く在籍(鳥の博物館友の会も創設時から)しておられた首藤祐吉さんが逝去されました。享年81歳でした。こうして先達が亡くなるのは寂しいかぎりです。首藤さんは見識が高いばかりでなく画才もあり我孫子美術家協会の会員で色彩豊かな絵を描いておられました。守る会のために数々仕事をさせていただきました。例をあげると、首藤さんの脚本で出来た野鳥紙芝居5作品は守る会の財産です。この先も子ども達に楽しんでもらえることでしょう。JBFではサポーターズの組織作りをされイベントの開催に貢献しています。守る会恒例の「芋煮会」に奉行制度を導入、ユーモアのあるところも見せてくれました。

告別式の読経のなか、遺影の首藤さんが現れて仕舞いを舞われているような気がしました。柔和で翁の顔でした。お囃子はエレクトーンでTime to say goodbye. 橋がかりから雲路に隠れて行かれました。首藤さんありがとうございました。

木村 稔

鳥 だ よ り

「目には青葉山ほととぎす初鯉」(山口素堂)。5月を迎え一挙に夏の陽気になってしまいましたが、夏を告げる鳥「ホトトギス」ほぼ例年通り5月16日に初音を聞かせてくれました。5/13に、山科鳥類研究所より、「鳥類標識調査」のビッグデータの分析から、地球温暖化が東南アジアから日本に渡ってくる夏鳥(ツバメ、オオヨシキリ、コムドリ)の渡来時期を早くしている傾向があるとの報道発表がありました。鳥だより(最近5年)のデータでは、ツバメは昨年まで年々早く(3/31 23 22 12)記録されていたのですが、今年は9日遅い3/21、オオヨシキリはほぼ例年どおり4/19、コムドリは昨年より8日遅い4/27でした。今回、国の希少野生動植物種に指定されているオオセッカ、同じくレッドデータに登録されているサンショウクイが鳥だよりに初登場(ここ5年以内)しました。オオセッカは、最近手賀沼周辺、北新田での確認情報がしばしばあるそうです(とりはく自然通信より)

- | | |
|---|--|
| 3.19 [高野山] ヤガ(1) 巢材(コケ)集め
平岡考ほか | 3.23 [片山(手賀の丘公園)] アガ(1) 木に
止まりドラミング 船津登 |
| 3.21 [柏] フウ(1) 9:26、換気口に飛
来 飯泉仁 | 3.24 [染井入新田] ツ(1) 上空を飛ぶ
(初認) 船津登 |
| 3.21 [柏] フウ(5) 9:48、成鳥2、若
鳥3羽が上空を旋回 飯泉仁 | 3.24 [手賀沼公園] ツ(3) 上空を飛翔
野倉元雄 |
| 3.21 [北柏ふるさと公園] アガ(1) 木の
幹づたい上りながら採餌 北崎正典 | 3.24 [中峠] ツ6~7 飛翔(飛び舞う)
松本勝英 |
| 3.21 [北柏ふるさと公園] ハ(2) 鉄塔
近くのヤブの枝にとまり、「フィ、フィ、
フィ」と鳴いていた。 北崎正典 | 3.25 [緑] ヤガ(2) 木の枝を小刻みに移
動 野倉元雄 |
| 3.21 [発作] ハ(2) 葎原上を飛び柳に
とまる 鈴木静治 | 3.25 [南柏] ツ(1) 14:00、電線に止まっ
て鳴いていた 飯泉久美子 |
| 3.21 [柏] ツ(1) 9:42、西方向から出現
し東方向に飛翔し移動 飯泉仁 | 3.25 [柏2丁目] ツ(1) ビル裏手の軒下
に入っていた。(毎年の営巣場所)
北崎正典 |
| 3.22 [柏] フウ(5) 9:53、成鳥2、若
鳥3羽が上空を旋回 飯泉仁 | 3.26 [中峠] ト(1) 高く輪を描く
松本勝英 |
| 3.22 [岡発戸・都部谷津] ハ(1) 低木
の中で鳴く 桑森亮 | 3.26 [中峠] 材(1) 飛去 松本勝英 |
| 3.22 [緑] ヤガ(2) 木の枝を小刻みに移
動 野倉元雄 | 3.26 [中峠] ク(1) 水路で採餌に夢中
松本勝英 |
| 3.22 [柏] ツ(1) 9:42、上空を飛翔し通
過 飯泉仁 | 3.26 [中峠] ハ(3) ハケの道際の低木
の枝先でポーズ 松本勝英 |
| 3.22 [桃山公園下] ツ(1) 上空を飛翔
野倉元雄 | 3.27 [酒井根 6丁目下田の森] 材(1)
13:40~14:50、成鳥雄 飯泉久美子 |
| 3.23 [東中新宿] ツ(1) 8:30、上空を鳴き
ながら移動 飯泉久美子 | 3.28 [酒井根 6丁目下田の森] アガ(1)
9:02、北側の林の中を鳴きながら移動
飯泉仁 |
| 3.23 [高野山下] アガ(1) コアの木で
採餌 野倉元雄 | 3.28 [酒井根 6丁目下田の森] ヤガ(1)
10:11、林縁を鳴きながら移動 飯泉仁 |
| 3.23 [片山(手賀の丘公園)] 材(1) キョ
キョの鳴き声の後、林より飛び木に止ま
る 船津登 | 3.28 [北新田(4号水路沿い)] ク(4)
水路、鳴きながら飛び立ち 桑森亮 |
| 3.23 [片山(手賀の丘公園)] ヤガ(2) 船津登 | 3.28 [手賀沼] ミ(1) 飛翔 中根忠 |
| | 3.28 [高野山新田] 材(1) 囀り 平岡考 |

- 3.28 [並木] ヌム(1) 飛翔 桑森亮
 上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 3.29 [柏] ヲウゲンホウ(2) "換気口内から雌
 が飛び出し、雄から餌(ネズミ)を受け
 取り片足で掴んで換気口内に戻った。
 北崎正典
- 3.29 [手賀沼遊歩道(岩井新田地先)] ヒ
 (2) 鳴きながら汎翔 桑森亮
- 3.29 [手賀沼遊歩道(片山,泉新田地先)]
 ヒ(4) 飛翔、汎翔 桑森亮
- 3.30 [片山(手賀の丘公園)] 材カ(1) 枯木
 に止まる 船津登
- 3.30 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(2) 上空を
 飛ぶ 船津登
- 3.30 [片山(手賀の丘公園)] ヲウゲンホウ(1)
 上空を飛ぶ 船津登
- 3.30 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5) 船津登
- 3.30 [片山(手賀の丘公園)] カジ(2) 地上
 で採食 船津登
- 3.30 [中峠] 材カ(1) 飛翔 松本勝英
- 3.31 [柏] ヲウゲンホウ(1) 雄が「!!!!!!」と
 激しく鳴きながら換気口周辺に群がる 10 羽
 以上のカラスにモビングをかけ、追い散らし
 ていた。 北崎正典
- 3.31 [北新田] ノリ(1) 電柱上 中野久夫
- 3.31 [中峠] 材カ(1) 3 羽のカラスにモビ
 ングされ一時姿を消したが、まもなくも
 っと自宅に近い林縁で再会。 松本勝英
- 4.01 [江蔵地] ベニシロ(2) 残り少ない柳の
 花穂を啄む 鈴木静治
- 4.01 [布佐平和台] ヤマガラ(1) 池の縁の木
 にとまり鳴く 鈴木静治
- 4.01 [中峠] アカ(1) 樹の幹で採餌。
 松本勝英
- 4.02 [手賀新田] ヲウゲンホウ(1) 電線にと
 まる 鈴木静治
- 4.02 [北新田] カシキ(3) 4 号排水路で
 中野久夫
- 4.02 [中峠] 材カ(1) 若竹(地上高3m位)に、
 梢と云うか穂先と思われる処に。 松本勝英
- 4.02 [岡発戸新田] ヒ(3) 上空高く旋回
 する 鈴木静治・船津登
 ・金子雅幸・蒲田知子
- 4.03 [中峠] オオカ(1) 低いコナラに
 松本勝英
- 4.04 [片山新田先手賀沼] 材カ(1) 13:07、
 沼の縁の葦原を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.04 [片山新田先手賀沼] ヒ(1) 13:20、
 上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.04 [片山新田先手賀沼] ヲウゲンホウ(1)
 13:42、雄成鳥が上空を飛翔
 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.04 [箕輪新田先手賀沼] サバ(1) 14:55、
 カスに追尾され出現 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.04 [手賀沼] オドリ(2) 上沼 2
 桑森亮・田中功・古出洋子
 ・船津登・木村稔
- 4.04 [手賀沼辺] ヒ(1) 下沼 1
 桑森亮・田中功・古出洋子
 ・船津登・木村稔
- 4.04 [北新田] ノリ(1) 電柱上 中野久夫
- 4.05 [酒井根 6 丁目下田の森] ヤマガラ(1)
 14:26、斜面林の中で鳴き声
 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.05 [東山] ヤマガラ(1) 13:57、鳴きながら
 移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.05 [手賀沼遊歩道(泉新田地先)] ヒ(1)
 旋回飛翔 桑森亮
- 4.05 [手賀沼遊歩道(鷲野谷新田地先)] ヲウゲンホウ(1) 電柱に止まり物色 桑森亮
- 4.06 [北新田] カシキ(5) 4 号排水路で
 中野久夫
- 4.06 [北新田] ヒ(1) 電柱上 中野久夫
- 4.06 [北新田] ヲウゲンホウ(1) 電柱上
 中野久夫
- 4.06 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を
 飛ぶ 船津登
- 4.06 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(10)
 船津登
- 4.06 [片山(手賀の丘公園)] カジ(1) 地上
 で採食 船津登
- 4.06 [中峠] 材カ(2) 70~80m離れて、盛ん
 に鳴き合う 松本勝英
- 4.07 [下沼田] ノリ(1) 電柱上にとまる
 鈴木静治
- 4.07 [千間橋] トビ(1) 田の叢に休む
 鈴木静治
- 4.07 [千間橋] ヲウゲンホウ(1) 上空を飛ぶ
 鈴木静治
- 4.07 [千間橋] ヒ(2) 上空を旋回しなが
 ら飛ぶ 鈴木静治
- 4.07 [大井新田(ふれあい緑道)] アスイ(1)
 枯れ草から飛び木立に止まる 船津登
- 4.09 [湖北台 2 丁目] ヲウゲンホウ(1) 自宅に
 就峙(3か月有余の間、継続) 大久保陸夫

- 4.10 [北新田] ハブサ(1) 電柱上 中野久夫
- 4.11 [手賀沼遊歩道(高野山地先)] オハチヨウ(1) コハチヨウの群れの中 桑森亮
- 4.12 [岩井] サハ(2) 12:30~13:00、雌雄各1羽、林縁の木の枝で交尾し、その後雄は渡去し雌は雄の運搬してきたモグラを食べていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [泉] サハ(1) 13:10、上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [泉] ノリ(1) 13:18、木の枝から地面に降り立ち餌を捕獲 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [泉] ヤガラ(1) 13:25、林の中で囀り 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [柏市南部] ヂ(1) 9:55、中原方面から鳴き声 飯泉仁
- 4.12 [布瀬] サハ(2) 14:12、北北西方向から出現し鳴き交わしながら上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [布瀬] ヒ(1) 14:15、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [片山] サハ(1) 14:00、西方向から出現し電柱の天辺に止まる 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.12 [片山新田] ヒ(2) 15:16、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16 [北新田] ヒ(1) 飛翔 中野久夫
- 4.16 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 4.16 [片山(手賀の丘公園)] ヤガラ(3) 船津登
- 4.18 [酒井根 6丁目下田の森] ヤガラ(1) 9:20、林縁で囀り 飯泉仁
- 4.19 [柏市南部] ヂ(2) 10:05、木の又に営巣をスタート。交互に巣材を運搬。その後交尾行動を複数回 飯泉仁
- 4.19 [相島] オハチ(1) 農道脇の叢で約50羽のオハチに囲まれ小鳥を食べる 鈴木静治
- 4.19 [発作] オハチ(1) 川原の葦の中で囀る 鈴木静治
- 4.19 [布瀬新田] オハチ(1) 休耕田の枯葦原で囀る(初認) 鈴木静治
- 4.20 [北新田] ヒ(1) 飛翔 中野久夫
- 4.20 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 4.20 [片山(手賀の丘公園)] オハチ(1) 林の中でキョキョと鳴く 船津登
- 4.20 [片山(手賀の丘公園)] ヤガラ(1) 木の上部でさえずる 船津登
- 4.20 [片山(手賀の丘公園)] カジ(2) 地上で採食 船津登
- 4.20 [片山(手賀の丘公園)] サハ(1) 細い木に止まる(初認) 船津登
- 4.21 [高野山下] オハチ(1) 沼の葦の林の中の鳴き声(初認) 野倉元雄
- 4.21 [鷲野谷] アサ(1) 水田で採食(夏羽、初認) 船津登
- 4.22 [柏市南部] ヂ(1) 9:26、雌が木の枝を嘴で折り、巣に運搬 飯泉仁
- 4.24 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 4.24 [片山(手賀の丘公園)] オハチ(1) キョキョと鳴く 船津登
- 4.24 [片山(手賀の丘公園)] ヤガラ(1) 船津登
- 4.24 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 桜の木に止まる(初認) 船津登
- 4.25 [岡発戸(五本松運動公園)] ヒ(1) 運動場の囲い森で囀る 桑森亮
- 4.25 [手賀沼遊歩道(岡発戸新田地先)] オハチ(2) 葦原の中で囀る 桑森亮
- 4.26 [岩井] サハ(1) 11:34、県道沿いの電柱上空でオハチに追尾され移動中 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.26 [柏市南部] ヂ(2) 9:35、雌雄各1羽が同じ枝に止まり、その後交尾行動 飯泉仁
- 4.26 [柏市南部] ヤガラ(1) 10:38、鳴きながら低木を移動 飯泉仁
- 4.26 [発作] オハチ(1) 11:50、水田で採餌 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.26 [北柏ふるさと公園] オハチ(1) 葦原の中で盛んに囀っていた。(初認) 北崎正典
- 4.26 [北新田] オハチ(5) ヌナと休耕畑で囀り 中野久夫
- 4.27 [柏市南部] ヂ(1) 9:12、雌が鳴きながら出現 飯泉仁
- 4.27 [千間橋] ノリ(1) 2羽のオハチにヒンギされる 鈴木静治
- 4.27 [布佐平和台] オハチ(1) 上空を鳴きながらヒンギされる 鈴木静治
- 4.27 [手賀沼遊歩道] コハチ(1) 約10 休憩 中根忠
- 4.27 [高野山] ヤガラ(1) 囀り 平岡考
- 4.27 [高野山] サハ(1) 鳴きながら飛ぶ 平岡考・佐藤文男
- 4.27 [片山] サハ(1) 電柱に止まる

- 船津登
- 4.28 [桃山公園下] 材ヨシ(1) 沼の葦の中の啼き声 野倉元雄
- 4.29 [泉] サバ(1) 12:23、電柱の天辺に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.29 [柏市南部] ツミ(1) 9:41、雌個体が枝に飛来 飯泉仁
- 4.29 [柏市南部] ツミ(1) 10:08~10:16、枝に止まり休んでいた 飯泉仁
- 4.29 [発作] セイカヅ(1) 14:22、田んぼの中を歩き餌を物色 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.29 [片山] サバ(1) 13:37、街灯に止まり、周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.29 [発作] 材ヨシ(3) 14:09、下手賀川の岸の葦原で鳴いていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.30 [水道橋] チョウ(1) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 4.30 [塚崎] チョウ(1) 田の上空を飛び鉄塔にとまる 鈴木静治
- 5.01 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(1) さえずる 船津登
- 5.02 [柏市南部] ツミ(1) 7:28、雌個体が巣で抱卵中 飯泉仁
- 5.02 [柏市南部] ツミ(1) 7:40、雌個体が巣を出て枝に移動し羽づくろい 飯泉仁
- 5.02 [柏市南部] ツミ(1) 8:10、雌個体が巣に入る 飯泉仁
- 5.03 [柏市南部] ツミ(1) 9:16、雌が木の枝を折り、巣に持ち込む 飯泉仁
- 5.03 [柏市南部] ツミ(1) 9:58、巣に座りこむ(産卵したものと思われる) 飯泉仁
- 5.03 [柏市南部] ツミ(1) 10:15、雄が鳴きながら林に出現 飯泉仁
- 5.04 [岡発戸(五本松運動公園)] ヒメ(1) 運動場の囲い森で囀る 桑森亮
- 5.05 [柏市南部] ツミ(1) 8:58、巣の中で座り込んでいた(抱卵中) 飯泉仁
- 5.05 [柏市南部] ツミ(1) 9:58、雄が鳴きながら出現 飯泉仁
- 5.05 [柏] チョウ(1) 12:07、商業施設の換気口に成鳥、若鳥各1羽が飛来 飯泉仁
- 5.05 [柏] チョウ(1) 12:15、若鳥が換気口で親鳥から渡された小鳥を採食 飯泉仁
- 5.06 [柏市南部] ツミ(1) 9:29、雌が巣に入り 飯泉仁
- 5.06 [柏市南部] ツミ(1) 9:48、雄が鳴きながら出現 飯泉仁
- 5.06 [柏市南部] ツミ(1) 10:13、林縁を鳴きながら移動 飯泉仁
- 5.06 [柏市南部] ツミ(1) 10:13、雌が枝に出現後、巣に戻る 飯泉仁
- 5.06 [日秀] チョウ(1) 12:30、カスに追尾され田んぼ上空を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 5.08 [柏] チョウ(1) 巣に近づくカラスに攻撃し、撃退した。 北崎正典
- 5.08 [発作] チョウ(1) 上空を飛ばす 鈴木静治
- 5.08 [片山] ヤマガラ(2) 林間で鳴く 鈴木静治
- 5.08 [桃山公園下] コムドリ(2) 遊歩道の並木で移動 野倉元雄
- 5.08 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(5) さえずる 船津登
- 5.08 [片山(手賀の丘公園)] ヒメ(2) 2羽で木の間を飛ぶ 船津登
- 5.09 [北新田] カッコウ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
- 5.10 [柏市南部] ヤマガラ(1) 8:54、林の中を鳴きながら移動 飯泉仁
- 5.10 [柏市南部] ツミ(1) 9:08、雄個体が雌と抱卵を交代し、北方向に渡去 飯泉仁
- 5.10 [北新田] カッコウ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 5.11 [柏市南部] ツミ(1) 9:16、雌が抱卵中 飯泉仁
- 5.12 [北新田] ヒメ(1) 飛翔 中野久夫
- 5.14 [古戸] カッコウ(1) 川岸の木の茂みで一声鳴く(利根川、初認) 鈴木静治
- 5.15 [布佐] ヤマガラ(1) 森の電線にとまり鳴く 鈴木静治
- 5.15 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(1) さえずる 船津登
- 5.15 [片山(手賀の丘公園)] ヒメ(1) さえずる 船津登
- 5.15 [北新田] アサギ(5) 代かき田で 中野久夫
- 5.16 [柏市南部] ツミ(1) 11:54、雄個体がキジバトを追尾 飯泉仁
- 5.16 [柏市南部] ツミ(1) 12:43、抱卵を雌から雌に交代 飯泉仁
- 5.16 [柏] チョウ(1) 3) 換気口内から2羽が(ヒカ?) が顔を出し外の様子を伺い、換気口上で雄親が周囲を警戒 北崎正典

- 5.16 [五條谷] 朴^トス(1) 南の空を西から
東へ鳴きながら飛ぶ(初認) 船津登
- 5.16 [中峠] 朴^トス(1) 断続的に鳴く(初
音) 松本勝英
- 5.17 [柏市南部] ヲ^シ(1) 9:28、雄が抱卵し
ていたのを雌が交代 飯泉仁
- 5.17 [柏市南部] ヲ^シ(1) 9:29、雄が雌に餌を
渡し、雌が枝に止まり餌を食す 飯泉仁
- 5.17 [柏市南部] ヲ^シ(1) 9:37、雄個体が枝を
折り、巣に運搬し雌と抱卵を交代 飯泉仁
- 5.17 [北新田] カ^コウ(1) 河川敷で鳴き声
 中野久夫
- 5.18 [片山(手賀の丘公園)] サ^バ(1) 低い
木から飛ぶ 船津登
- 5.19 [北新田] カ^コウ(1) 越流堤横柳上
 中野久夫
- 5.19 [北新田] チョウゲ^ンホ^ウ(1) 八^リリング^ク
 中野久夫
- 5.19 [大森(近辺)] 朴^トス(1) 鳴き声
 古出洋子
- 5.20 [北新田] カ^コウ(1) 河川敷で鳴き声
 中野久夫
- 5.20 [五條谷] チョウゲ^ンホ^ウ(1) 上空を旋回
 船津登

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオゲラ、アオジ、アオバズク、
アカガシラサギ、アカゲラ、アカハラ、アマ
サギ、アリスイ、イソシギ、ウグイス、ウソ、
エナガ、オオジュリン、オオセッカ、オオソ
リハシシギ、オオタカ、オオハクチョウ、オ
オバン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、オシ
ドリ、オナガ、カイツブリ、カケス、カシラ
ダカ、カッコウ、カルガモ、カワウ、カワセ
ミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キア
シシギ、キジ、キジバト、キビタキ、キョウ
ジョシギ、クイナ、クサシギ、クロジ、コア
ジサシ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、
コチドリ、コブハクチョウ、コムクドリ、サ
シバ、サンショウクイ、シジュウカラ、シメ、
シロハラ、スズメ、セイタカシギ、セグロカ
モメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、

タシギ、タヒバリ、チュウサギ、チュウシャ
クシギ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、
ツミ、トビ、ノスリ、ハクセキレイ、ハシブ
トガラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、
ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、フクロウ、ベ
ニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、
ホトトギス、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、ム
ナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモ
メ、ヨシガモ、ルリビタキ 計93種
<番外種>
アイガモ、カワラバト、コジュケイ、バリケ
ン

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	381
飯泉仁・飯泉久美子	217
飯泉久美子	13
大久保陸夫	2
北崎正典	10
桑森亮	98
桑森・間野・野口・清水	1
桑森亮・田中功・古出洋子 ・金子雅幸	13
桑森亮・田中功・古出洋子 ・船津登・木村稔	23
古出洋子	1
鈴木静治	192
鈴木静治・間野吉幸・池田日出夫	17
鈴木静治・船津登・金子雅幸 ・蒲田知子	23
田中功	2
中根忠	8
中野久夫	54
野倉元雄	52
平岡考	6
平岡考・佐藤文男	2
船津登	158
松本勝英	25
総計	1299

(浅井久)

【会員だより】(ab-yacho より)

【中峠、カケスとアカゲラは仲良し?】

2015.04.01 松本勝英

アカゲラの姿に久し振りに出会えました。それも、同じ木には、カケスが数羽居るのに、幹で採餌していました。カケスの方も、アカゲラを無視するかのよう追おうともしません。片や幹、片や枝と行動範囲が完全に分かれており、仲良しの雰囲気でした。シメ、キジ、コジュケイ、エナガ・・・もちろんツグミたちも健在でした。ここ数日、ジョウビタキに会えません。別れの時期なんですかね? そういえば、ツグミの羽色が妙に鮮やかに感じます。

【ツグミの終結】

2015.04.06 松田幸保

昨日の午前中、五本松公園近くの五本松運動広場の真ん中にツグミが集まっています。最初はムクドリかと思いましたが、双眼鏡で確認すると全部ツグミで27羽でした。渡りの準備でしょうか!

【シジュウカラのその後】

2015.04.08 古出洋子

巣作りをしたシジュウカラが何時産卵をして、抱卵をし始めるのかが気になっていましたが、本日17時頃1羽が現れたので、注意していたところ、もう1羽が現れ、それがポストの中に入りました。最初に現れた方は5~6分警戒していたようですがどこかへ飛んで行ってしまいました。ポストに入ったのはそのままでした。抱卵が始まったのでしょうか。

【続...我が家のチョウゲンボウ】

2015.04.09 大久保陸夫

我が家に居座り続けている「チョウゲンボウ」ですが、現時点でも居座っております。今夜も懐中電灯の光の中に、こちらを伺っているチョウゲンボウの姿を確認しました。去年の暮、12月29日に確認してから、まるまる3ヶ月を過ぎております。こんなに長期間滞在するとは夢にも想像しませんでした。

2015.04.22 大久保陸夫

去る4月9日にお伝えした我が家の「チョウゲンボウ」のことですが、とうとうどこかへ旅立ってしまいました。居なくなってから今日で10日になりますが、たぶん連れ合いを見つけ新たな居住地に住みついたことでしょう。3ヶ月有余、我が家に住み着いて、私がチェックのため毎晩懐中電灯で照らしたにも関わらず嫌がらずに良く毎晩帰ってきてくれたものです。自然の摂理に従い旅立ったことですが、私としてはこれから少々淋しくなります。

2015.04.23 桑森亮

大久保家のチョウゲンボウ、パートナーを見つけたのでしょう。鳥類の将来には結構なことですね。見せていただいたチョウゲンボウの可愛いまなざしが印象的です。元気で子供を連れて戻ってくるといいですね。

【夏鳥を探しに谷津から遊歩道を歩いてみました】

2015.04.25 桑森亮

そろそろ渡りの夏鳥が見れるかと思ひ、岡発戸・都部谷津～五本松公園～手賀沼遊歩道と歩いてきました。谷津と遊歩道では未だアオジが残っており、あちこちでキジの鳴き声が聞こえ、ホオジロの 同士が激しく争う姿が見れました。五本松公園近くで五本松運動公園方向でサシバのようなタカが森に飛び込むのを見たので、運動公園に入り探しましたが見つかりません。すると別の方向からキビタキの囀りが聞こえ、かなり近くで聞こえるのですが姿は森の中で見つかりません。それでも、夏鳥シーズンを実感しました。今シーズンでは初めてのオオヨシキリのギョギョシの声も手賀沼遊歩道の何か所かで聞けました。それに加え、手賀沼の水面にヨシガモ 2羽が休んでおり、写真を撮ると飛び立ちました。きっと北の繁殖地に帰り遅れた番が羽を休めていたのでしょう。

【今年も大津川河畔にムナグロがやって来た】

2015.04.26 相良直己

先週の土曜日、今週の土曜日と大津川中流域を散策しました。ツグミはまだかなり残っていますが、アオジの声は殆ど聴かれなくなりました。先週は7羽のコチドリ、それも2番いの交尾に遭遇しました。先週は期待して空振りだったムナグロの群れが、今年も大津川中流河畔のいつもの田圃にやってきました。昨年は4月26日に初飛来、今年は一日早く、本日午前中に飛来したようです。昨年は30羽近い群れとなりましたが、今年はまだ10羽余、幼鳥が多く、漆黒な胸の夏羽の成鳥の姿は余り見られません。まだ、換羽中で換羽が完全に終わっていないのかも・・・
これから2週間程度の期間、数も少し増え、楽しませてくれることと思います。大津川周辺では渡りのシギチはコチドリとムナグロ、そしてタシギ位しか見ることは殆どありません。東葛地方もいよいよ春のシギチの季節到来です。

【春の鳥だより 2題】

2015.04.27 平岡考

3/19に記録していますが、このころから3月下旬にかけて山階鳥研の中庭のコケに、ヤマガラが通ってきて、コケをはがして運んでいました。もちろん巣材運びをしているので、近くに巣があるのですね。山階鳥研周辺では、ヤマガラは以前は季節を問わず、ほとんど観察しない鳥でしたが、とくに数年前から秋口とか夏に散発的に見られるようになりました。ただ、私自身は我孫子市内での確実な繁殖の事例は知りません。巣材運びが見られたのは興味深いです。

3/28の日曜日、ムクドリなど、ありふれた鳥の写真を少し撮りたくて手賀沼沿いを歩いていたら、アシ原からオオセッカの囀りが聞こえてきました。春になったので別の場所で越冬していた鳥が、繁殖地に移動する途中で手賀沼を通過したのかもしれませんが、ことによると手賀沼のアシ原で越冬していて、春めいてきたので囀ったのかもしれませんが。

【ポストに巣作りしたシジュウカラ】

2015.05.02 古出洋子

4/8(雨) 17時頃2羽が現れ、そのうちの1羽が巣に入ったのを見届けたことはお知らせ済みでした。

4/13(雨)居間より見るともなく観察すると、出入りが確認できました。

ところが、新聞は他のポストに配達してもらっていたのですが、配達人が変わった様で4/20の朝刊が投入口に隙間もなくねじ込まれており、新聞がいつものポストにな

いことに気が付いたのが8時頃でシジュウカラが騒いでいたようです。その日の午後2羽が近くのアオハダに止まりポストの方の様子を見に来たようなのですが、いつもは鳴き声で来たことに気付かされるのですが、この時は鳴かずに枝を行ったり来たりしていました。

この後はほとんど姿を見ることはなく、気にはなったのですがポストの裏口を開けてみる勇氣もありませんでした。本日筑波山探鳥会でどうなったかと聞かれたのを機に帰ってから巣をポストから出してよく見ましたら、何と卵は10個も産んでありました。巣の大きさを測ってみたら28×24 厚さは5cm 一番奥の所に5×4 深さ4cm程の犬の抜け毛が隙間なく敷き詰められた中に10個の卵が入っていました。

親鳥が足繁く餌を運ぶ様子や、幼鳥の餌をねだる声が聞かれることを心待ちにしていただけに、本当に心さみしい結末のお知らせとなってしまいました。

こんな私の気持ちもわからず、裏山の方でシジュウカラの鳴き声が聞こえることは、他に又巣を作りなおして、育児に励んでいるのでしょうか。

願わくば、心乱すようなところに巣作りはしないでいただきたいものです。

2015.05.07 平岡考

残念でしたね。私もうまく孵化するようなら見学させていただきたいと思っていたのですが・・・。

でもシジュウカラはたとえば、横倒しの甕や、伏せた植木鉢、駐車場で使われる三角のコーンなどでも繁殖することがありますので、今回の例も含め、そういった場所に繁殖したものは、樹洞や巣箱で営巣するよりもかなり高い割合で失敗の憂き目を見るはめになるのだらうと思います。

小鳥がどんな巣を作るかということといえば、樹洞で営巣すれば、木の枝でオープンな巣で営巣するヒヨドリやホオジロよりずっと捕食動物からの安全性が高いわけですが、一方このように、ホオジロなんかは木さえあれば細い木でもかまわないのに、シジュウカラは樹洞のあるような大木がたくさんあるわけではないので、営巣場所が限られてしまって困るという、あちらを立てればこちらが立たずという構造になってるわけですね。話を古出さんのお家のシジュウカラに戻すと、今からでもお庭に巣箱をかけてみられると、ことによるとまだ5月の初めですので、これから入って再度繁殖ということもあるかもしれませんね。

【ウグイスの聞きなし】

2015.05.06 松田幸保

私の耳にする今年のウグイスの鳴き声は「ほー ほけべちょ」が多いのですが、みなさんはいかがでしょうか？

わたしの近所および先月の利根運河上流で感じました。今日も！

2015.05.07 田中功

松田さんに指摘いただいて、今年市内で聴くウグイスの鳴き声が、何処かチョット違うなア・・・と私も感じたケースが、2～3回ほどありましたことを、思い出しています。「ほー ほけ きょ」「ほー ほけ ちょ」とでもいった感じに聞こえたことが2～3回あったことが思い出されます。

場所は、高野山（お昼休みの散歩時）と住所のつくし野3丁目辺り。（の箇所は、高音域（ハイオクターブ））。ウグイスには、地方によって、方言らしきものがあることは知られていますが、今年に限って、我孫子のウグイスが、一斉に、（あるいは、何羽かの複数のウグイスが）、方言を変えた、とも思われないので不思議には思っていました。ウグイスの学名 *Cettia diphone*、種小名の *diphone* は、ギリシャ語系の *phone*（音声）

から、diphone (2つの声)、つまり、複数の鳴き声があるということを命名時に、すでに、認識されていた、とも思えるか?など、妄想しています。

2015.05.07 松田幸保

私が昨日聴いた場所は、田中さんが聴かれた我孫子市高野山あたりですね、2個体が同様の鳴き声でした。利根運河でも複数個体でした。

2015.05.07 松本勝英

今夕、NHK / TVで、ハワイのウグイスの鳴き声が単調なのは、「縄張り争い」が穏やかなことから、競って音色を変えない”進化”とありました。

方言なのか、進化はともかく、地域性が現れ易い種であることは肯けます。

中峠のウグイスは、松田さんのご指摘以降、気を付けていますが、例年通りに聞こえます。個体差は、こちらの”聞きなし”感度の差なのかも知れません。

2015.05.07 古出洋子

メールを見た7日は、鳴き声が聞かれませんでした。夕方NHKラジオで、松本さんの見られたテレビ放映と同じ内容のことを聞きました。

今朝、家の周りから聞こえた鳴き声は「ホーホケホケ ホーホケホケ ホーホケホケ」の後、手短にというか素早く「ホケキョ」と鳴き、その後、谷渡りの鳴き声でした。早春は、あまりなめらかではありませんでしたが、「ホーホツケキョ」の連続だったような気がしましたが。

【キジの抱卵】

2015.05.16 大久保陸夫

一週間前に見つけたのですが、私が毎日歩いている道路脇に蹲っているキジを見つけ、当初は身体でも具合が悪いのかなと思ってしばらく観察しました。

時期的に抱卵を始めたかと判断しました。それ以来、毎日観察しておりましたが異常はありません。なにせ自動車が通れる農道の脇で、外敵にも狙われやすいところで抱卵を始めるとはよほど切羽つまった事情があったと推察されます。

抱卵を一時中止して飛び去った時に確認したのですが、卵は10個ありました。

いずれにしても、こんな目立った場所で抱卵するのは非常に危険です。

無事雛が生まれ育ってくると良いのですが。

2015.05.17 松田幸保

10個の卵を産むのに何日かかったのでしょうか。

抱卵は の役目らしいので、大変ですね！うまく全部が孵ることを期待します。

2015.05.17 平岡考

平岡です。興味深いキジの抱卵の画像ご紹介ありがとうございます。

「焼け野の雉子(きぎす) 夜の鶴」という言葉を思い出しますね。

ごぞんじのように、母性愛の強いことのたとえとして、キジの母親が巣についているときは、野火に焼かれそうになっても逃げない、寒い夜にはツルはヒナを寒さから守ろうと巣に覆いかぶさる、といったことを言っているそうです。抱卵中のキジの雌は外敵が近づいても逃げないのは事実で、農家の方が草刈りをしていて、抱卵中のキジに気づかずに草刈り機で草ごと刈って死なせてしまい、卵がどうにか助からないかといつて、山階鳥研などにも持ち込まれることがあります。

それと、どこでも緑が萌え出ているこの時期にこの茶色く枯れた草むらのようすは、

除草剤が撒かれてるのですよね。推測するに、キジが産卵したときは、ここはよく茂った草に覆われてまったくキジがいるのがわからない場所だったのじゃないでしょうか？この場所をお持ちの農家の方が、知らずに除草剤を撒いてしまい、抱卵しているキジが途中からむき出しになってしまったのじゃないかと思えます。この親鳥あるいは卵は除草剤をもらにかぶっているのかもしれませんが。なんとかならごともなくヒナが孵化すればよいですね。

2015.05.18 大久保陸夫

貴重なキジの習性や農薬の危険性について教えていただき有難うございます。特に貴兄が画像から推察された農薬の件については、私としては考えもしなかったことで、非常に驚きを感じました。教えていただいた結果は私としても同感で、キジにとっては非常に危険性をはらんでおります。雛が巣立つまでは観察を続けてまいります。今日観察したところ、キジは無事抱卵を続けていました。何かありましたら、お伝えします。

2015.05.21 大久保陸夫

キジの抱卵の件ですが、残念な結果をお知らせすることになりました。昨日、観察の結果は、巣は荒らされ壊れた卵の殻が散乱する惨憺たる有様でした。キジの姿が見えないので、最悪を覚悟して付近を捜したのですが羽の欠片さえ見当たりません。ところが、今日巣のそばを通ったら 10M 位離れたところにキジがションボリと佇んでいるのを見つけました。ふつう、こちらの姿を見て直ぐ逃げるのですが逃げません。もしかすると、巣の付近を離れがたく、侘ずんでいるのかなとも思いました。そう考えるとキジ雌は無事だったのかもしれないと、少しは気持ちも楽になりました。また、壊れた卵から推察して、10個あった卵にしては壊れた卵が少ないような気がしました。カラスかイタチなどが持ち去ったか？ わかりません。

【カワガラスのミス】

2015.05.17 松田幸保

溪流の堰堤に巣作りをしているカワガラスを観察していた時のことです。数本の滝状の流れがあり、そのうちの特定の滝裏に巣材を運び込んでいました。ある時、隣の滝に飛び込んだので、裏でつながっているんだなと思いました。じきに出てきて正しい滝に入りなおしました、間違えたんですね！滝裏でどんな顔をしたんだろうと、可笑しくなりました。

【手賀沼のコブハクチョウの繁殖状況】

2015.05.18 桑森亮

手賀沼のコブハクチョウの繁殖状況ですが、GW前には市民農園前の水生植物園で抱卵していた個体が孵化し、6羽の雛が市民探鳥会でも見られました。(3日のカウントの際には手賀沼公園でも雛6羽を確認しています。)湖北集水路出口の葦原に抱卵していた個体は、GWの間は未だ抱卵していたのですが、昨日見に行ったら雛5羽が親と一緒に遊んでいました。ここ1週間ほどの間に孵化したのだと思います。また、水生植物園で抱卵していたオオバンも孵化し、可愛い雛4羽が見られました。

会からのお知らせ

1. 探鳥会等での車提供料及び下見代に係る費用負担について

先の4月12日に開催された平成27年度定期総会の審議において、手賀沼探鳥会等での運転者に対する車提供料、遠出探鳥会での下見代の負担金の取り扱いについて、一覧表で整理することされています。つきましては、費用負担の具体的取り扱いを下表の通り纏めましたので、会員の皆様にお知らせします。

項 目	内 容
手賀沼 定例探鳥会	同乗者は、車提供料として100円/人を運転者に支払います。 なお、対象となるのは会員のみで、非会員と子供は無料です。
手賀沼 定点カウント	会の予算より、車提供料として300円/日を運転者に支払います。
日帰り探鳥会 下見代	下見を実施した際には、参加者は200円/人を担当幹事に支払います。 公共交通機関を利用する場合も同様とします。 但し、バス等を利用する場合は、交通費実費、入場料等の諸費を参加費に含め参加者が負担します。
宿泊探鳥会 下見代	交通費実費、入場料等の諸費、宿泊代（通常料金で追加飲食費は除く）の半額相当を参加費に含め参加者が負担します。

2. サマータイム制の実施について

手賀沼定例探鳥会の開始時間について、昨年度は夏季期間限定として7月から9月まで1時間早め、午前8時からとする「サマータイム制」をトライアルとして行いました。

その結果、涼しい時間帯に探鳥ができ参加者が増加するなど、良好な成果が得られましたので、今年度も同様に「サマータイム制」を行います。

時間をお間違えのないよう、皆様のご協力をよろしくお願いします。

実施期間：平成27年7月から9月まで

集合時間：午前8時（通常より1時間早めます。） 終了時間：午前11時頃

<新入会員> 残念ながら4、5月の新入会員は有りませんでした。

ほーほーどり No.245 (2015年7~8月号)

発行 2015年7月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務所 〒270-1154 我孫子市白山3-8-16-104 間野方

連絡先 〒270-1143 我孫子市天王台2-15-17 桑森 亮 Tel 04 7182 3149

U R L <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費 2,000円（大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料）